

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の 利用目的及び 利用方法	● 研究の名称 「腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術におけるメッシュ固定法が術後疼痛に与える影響に関する観察研究」
	● 研究の対象 2006年6月から2022年5月までの期間に、浜松医科大学一般（内視鏡）外科において鼠径ヘルニアと診断され、腹腔鏡下手術を受けられた方約680名のうち、痛みのチェックシートを提出された約520名
	● 研究の目的 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術において、メッシュの固定法（タッカーないし縫合）による術後疼痛の程度の違いを調査します。
	● 研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2024年3月まで
	● 他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は、記憶媒体（USB）に保存し、手渡しで行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、研究責任者・研究分担者が保管・管理します。
利用し、又は 提供する試料・ 情報の項目	● 研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、カルテ記載上の手術時所見（両／片側性、病変の左右、ヘルニア型、ヘルニア門の大きさ、腹膜切開方法、使用メッシュの種類と大きさ、固定方法、固定数、出血量、手術時間、同時手術の有無）、診療科管理の手術ビデオ観察による所見（ヘルニア嚢切除の有無、メッシュ固定時間）、術後疼痛アンケート、入院中鎮痛剤使用回数、術後漿液腫の有無、術後血腫の有無、再発の有無、他の合併症 等
利用する者	● 機関名および責任者名

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

の範囲	浜松医科大学医学部附属病院第一外科診療科群(一般内視鏡外科) 佐藤正範 島田市総合医療センター 外科 渡邊貴洋
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	浜松医科大学医学部附属病院第一外科診療科群(一般内視鏡外科) 佐藤正範
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 医学部附属病院第一外科診療科群(一般内視鏡外科) 担当者： 佐藤 正範 TEL： 053-435-2276 E-mail： msnrsato@hama-med.ac.jp